

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

百井青少年村の運営について

日頃は、百井青少年村を御利用いただき、誠にありがとうございます。

当施設は、青少年の福祉の増進と自然に親しむ活動の振興を図るための野外活動施設として、昭和47年に開設されました。

当施設の運営は、以下に示したとおり、利用者の皆様からいただく利用料金のほか、市民の皆様の税金等によって支えられています。今後とも更なるサービスの向上や効率的な運営に努めてまいりますので、当施設を一層御利用いただきませうお願いいたします。

施設の料金と利用者数

(利用料金) 交流センター : 有料 (時間帯により料金が異なります)
テントサイト : 無料
(利用者数) R1年度利用者 : 6,827人

施設の収入と支出

<支出> 利用1人一回当たりの運営経費 : 1,428円

総額 975万円

人件費相当額 846円	消耗品費等 582円
----------------	---------------

<収入> 利用1人一回当たりの収入 : 129円

総額 850万円

利用料収入 129円	その他 61円	市民の税金で負担 (公費で負担) 1,238円
---------------	------------	----------------------------

●当施設の運営は、利用者1人1回あたり1,428円の経費がかかっていますが、施設を利用しない方も含めた市民の負担により、現在の料金で御利用いただいています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様に納めていただく税金) などにより賅われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状態に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。